

第一〇九回

廿五回

島田大祭

10/
12_土13_日14_祝

日本三奇祭の一つに数えられている豪華絢爛な「島田大祭」は、1695（元禄8）年から神事祭式が定まり、初めて神輿の渡御が行われたとされています。当時から文化が現在まで多く受け継がれ、衣装や祭小物など、島田でしか見ることのできない貴重なものばかりです。

伝承によると、島田宿の氏神として信仰された大井神社は、元和年間に下島の地（御飯屋町にある現在の大井神社御旅所）にあったものが、1689（元禄2）年に現在の大井神社境内に遷座されたといえます。

そして、3年に1度、大井神社から御旅所へ里帰りするのが、島田大祭の発祥と伝えられています。

島田大祭

大祭開催中の交通規制

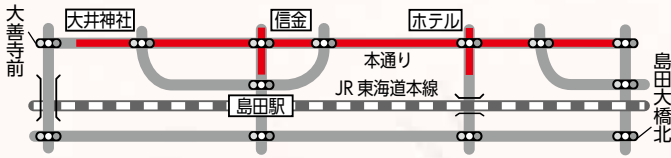
▼豪華絢爛な「島田大祭」を安全に行うため、期間中は、本通りにおける車両の交通規制（■部分）を実施します。また、その他の場所でも、時間により規制されますので、詳しくはお問い合わせください。皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

※会場周辺でのドローンなどの遠隔

操作機の使用は、危険ですのでおやめください。

問 大祭保存振興会事務局
電話 335-3111

問 島田市観光協会
電話 337-1241



テーマは「バック・トゥ・ザ・江戸時代」

島田大祭は、遠く元禄の時代から受け継がれてきました。この祭りを一言でいえば「バック・トゥ・ザ・江戸時代」。屋台や大奴、鹿島踊など、いにしえから続く文化の伝承を、目で見ても耳で聴いて、江戸時代に戻った気分になって楽しんでいただければ幸いです。島田大祭保存振興会では、その一助となれますよう、今後も尽力してまいります。



島田大祭保存振興会
堀江良則 会長



大鳥毛(明治44年)



鹿島踊



島田市文化協会
もりさわむねひこ
森澤宗彦 会長

歴史や文化は、自らが感じ取り、理解し、発信していくことで、次の世代に継承されていくものだと思います。島田大祭は、伝統芸能に触れながら、さまざまな世代の人たちと深く関わることができる貴重な機会です。島田の歴史を語る上でも大変重要であり、多方面に影響のあるこの祭りに、地域を担う市民の皆さんの積極的な参加とご理解をお願いします。

祭りの歴史や文化を感じ、次の世代へ



写真左から:鹿島踊、上踊、大奴、御神輿、御殿様

▼期間中、会場までのシャトルバスを運行します(無料)。

運行時間／午前9時～午後6時

運行経路／市陸上競技場東側からJR島田駅南口間(●)バス発着場(●)駐車場(●)大祭保存振興会事務局

電話 35・3111

島田駅 B

JR 東海道本線

342

大井川緑地公園・駐車場 陸上競技場 P B

シャトルバスのご案内

▼島田大祭の見どころの1つに、第一街から第五街までの屋台があります。島田の屋台は、長唄芸人による演奏で屋台踊りを見せる「移動舞台」として、その姿を現代まで伝えていきます。屋台運行時には、一度に目にするのがない、長唄芸人の素晴らしい唄と演奏をお楽しみください。

とき／10月10日(木) 午後5時30分開場、6時開演

ところ／プラザおおり

入場料／4000円(全席自由席)

プレイガイド

プラザおおり 電話 36・7222

地域交流センター 歩歩路

電話 33・1150

長唄の夕べ

